

八丈島 水産だより

2月号
2017



このところ、強い寒気が八丈島付近まで南下し、雪が降るほど非常に寒い日もあるせいか、春の訪れが待ち遠しく感じませんか。そんな中、八丈島産業祭が1月28日・29日にかけて開催されました。商工会・農協等がそれぞれ特産品の展示即売や切葉をはじめ植物の展示等を行い、漁協女性部も試食コーナー、お魚の惣菜品の販売を行い朝市さながらの盛況ぶりでした。女性部の皆様、お疲れ様でした。

■ 最近の漁模様

1月は天候に恵まれず、海も時化ることが多かったため、一週間に渡って水揚げがないなど、なかなか漁に出られない日が続きました。

そのような中、1月末からトビウオの水揚げが始まりました。まだ量は少ないですが、これから5月頃にかけて本格化していきます。産業祭では女性部ブースにてトビウオコロッケや薩摩揚げなどが販売され、トビウオのすり身汁がふるまわれました。



■ 海面利用講習会が開催されました！



漁業関係者を対象とした海面利用講習会が、1月25日に八丈支庁で開催されました。

この講習会は、海の気象や船舶の安全航行に関する事、漁業法等関係法令に関する事について講義するもので、講師として、下田海上保安部・東京管区气象台・東京都水産課の各職員が来庁しました。当日はこの時期数少ない出漁できる日に当たったため、参加者は10名と少なめでしたが、適正・安全な漁を行う為に必要な話を聞くことができる良い機会となりました。